

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.152

田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。「文藝」(河出書房新社)2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>

40年前、初めて出会った中太・硬麺。病み付きとなった熊本ラーメンの雄

今週の逸品



太肉麺 950円

誰もが知る熊本ラーメンの雄。誰もが一家言を有するラーメン故、桂花も甲論乙駁の軌跡を歩む。椅子の高さ、カウンターの高さを逆手に取って根強い人気を集める東口駅前店よりも4年ほど長い歴史を有する

が1968年開店の末広店。高菜漬けが入った阿蘇拉麺よりも満腹感を味わえる太肉麺は言わずもがな太肉に加え叉焼、莖若布、茹で卵も入った豪華版。以前は平日に卓上に置かれていたキャベツの漬漬も復活希望。

【桂花 新宿末広店】東京都新宿区新宿3-7-2 ☎03-3354-4591 営業時間：木・土11:00~23:15、金11:00~3:30、日11:00~22:00 禁煙 <http://keika-raumen.co.jp/>

illustration by Hajime Anzai



「入寮する展開となりました。程なく、「寮の主を自任する」多浪生」に誘われて週末、夜の新宿に数人で繰り出すようになります。といっても可愛いもの。現在のガールズバーの嚆矢にあたるレディ・スコンパだったり、カンタベリーハウスギリシャ館といったディスプレイコト出掛け、西船橋行きの終電に乗って皆で帰館。

カンタベリーハウスはアサヒビール、ニッカウエスキー、日新物産の頭文字が名称の「合弁会社」ANNが運営。因みに日新物産は、鬼籍に入った池口麗子・谷本捷三の偉才姉弟がショービジネス界を牽引した伝説の企業でした。

で、大将と呼んでいた多浪生は熊本の出身。新宿駅に向かう帰路、寄るぞと彼が僕らに命じ、決まって立ち寄ったのが「桂花」でした。中太・硬麺に初めて出会った僕は病み付きとなります。が、ここでも好事魔多し。豚骨白湯スープを飲み干すと数日後に決まって、鼻に面行かと思ふ程に大きな面皰が生起してしまうのです。若かりし日の苦い思い出です。

爾来40年、太肉麺を頼みます。久方振りに新宿を訪れた過日、末廣亭近くの店舗で食しました。井文は増したものの、容量は減った感を受ける井の形状。心做し小振りを感じる太肉。或いは3年前に経営母体が代わった所為でしょうか。奮起を望むや切です。

駿台予備学校、河合塾と並んで御三家を形成していた代々木ゼミナールが、全国で展開する27校を7校に集約し、7割の校舎を閉鎖との報道は、世代を超えてある種の感懐を抱かせたでしょう。

既に代々木地区では08年竣工の26階建て代ゼミタワーに集約。既存校舎を貸会議室に転用の現実を踏まえ、戦略的敗北でなく、駅前に位置する他の校舎も順次オフィスビルやビジネスホテルに変身させる戦略的成功だ、と形式知で捉える論評も散見します。

その当否は別として、18歳人口のピークは団塊ジュニアが高校卒業の'92年度205万人。'14年度は118万人です。'31年度には99万人へ激減と国立社会保障・人口問題研究所は推計します。

他方で'92年度に384だった私立大学数は'14年度に603と急増。国立と合わせ781。市場侵食だと従来校が猛反発かと思いきや、臨時定員増なるアメを文部科学省から受け取り、更には大学進学率の上昇も手伝い、新設という「規制緩和」に諸手を挙げて賛同した